

第九回
谷口裕和の會

〔出演〕
市川中車
尾上右近
片岡千之助

〔演目〕
一、鷺娘
二、蛭子
三、藤娘
四、旅

令和七年
十一月二十六日(水)

〔昼の部〕午後一時 開場
一時三十分 開演

〔夜の部〕午後五時 開場
五時三十分 開演

観世能楽堂
GINZA SIX

演奏出演者
義太夫 竹本連中
長唄 松永忠次郎 連中
松永忠一郎 連中
住田長十郎 社中
笛 福原寛
御観劇料
特等席 一五〇〇〇円
一等席 一二〇〇〇円
二等席 八〇〇〇円
三等席 五〇〇〇円

前売開始 十月一日(水)
Webチケット予約
c+(イーブラ)

お問い合わせ
谷口裕和事務所
〇八〇五八〇七〇六八九

後援 高山市
協力 松竹株式会社

TANIGUCHI HIROKAZU NO KAI 9

第九回 谷口裕和の會



舞踊家・谷口裕和は、日本舞踊の伝統を深く体現しながら、現代の美意識をも取り入れた独自の表現で、舞台芸術の新たな地平を切り拓いてきました。近年では、話題の邦画『国宝』にて振付(指導)を担当し、映像作品においても舞踊家としての繊細な感性と技術を存分に示しました。

「谷口裕和の會」は例年一度の開催を重ねてまいりましたが、昨年は映画『国宝』をはじめとする大きな創作活動に専念したため、開催を見送りました。今回はその充実した時間を経て、満を持しての再開となります。

第九回を迎える本公演では、四演目を通じて日本舞踊の精華を披露いたします。幕開けは谷口裕和による「鷺娘」。雪の中に咲く恋の儂さを、素踊りにて繊細かつ艶やかに舞い上げます。本作の美術監修には、映画『国宝』の美術を手掛けた種田陽平氏を迎え、視覚的な美も一層の深みを加えます。続いて、市川中車による「蛙子(ひるこ)」。御祝儀舞踊の折り目正しさと技巧が光る一幕に、舞台の妙味が凝縮されます。三番目は片岡千之助による「藤娘」。華やかさと哀愁が交錯する名作を、衣裳付にて、若き感性で瑞々しく舞い上げます。そして終幕は、尾上右近と谷口裕和による長唄「旅」。二人の踊り手が紡ぐ旅路の情景が、観る者の心に静かに染み渡ります。

会場は、銀座の中心・GINZA SIX内に佇む観世能楽堂。幽玄と洗練が交差する空間で、珠玉の舞台をご堪能いただけます。秋深まる十一月、心に残る一夜をぜひ一緒に。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

過去の公演



GINZA SIX 観世能楽堂

〒104-0061
東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX B3F
地下鉄銀座駅からGINZA SIX地下2階へつながる地下鉄連絡通路をご利用ください。

- 銀座駅 東京メトロ銀座線/日比谷線/丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分
- 東銀座駅 東京メトロ日比谷線/都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- 有楽町駅 JR山手線/京浜東北線/東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分

国指定重要文化財
創業寛政六年
宗和流本膳

飛騨高山 料亭 洲さき
高山市神町四丁目十四番地
電話 〇五七二二〇〇三三